



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年2月9日
東

上場会社名 株式会社ホロン 上場取引所
 コード番号 7748 URL <http://www.holon-ltd.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 新田 純
 問合せ先責任者（役職名） 取締役総務部長（氏名） 菅野 明郎 (TEL) 04-2945-2951
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	845	△13.6	72	△23.8	64	△34.0	54	△46.3
27年3月期第3四半期	978	△1.7	94	△60.2	97	△59.9	101	△54.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第3四半期	16.40		—					
27年3月期第3四半期	30.52		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
28年3月期第3四半期	1,731		910		52.6	
27年3月期	1,738		856		49.3	

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 910百万円 27年3月期 856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,530	7.9	166	5.6	166	4.9	144	△46.5	43.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	3,340,500株	27年3月期	3,340,500株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	—株	27年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	3,340,500株	27年3月期3Q	3,340,500株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、中国やアジア経済の減速により、企業が設備投資を先送りする動きが広がったことなどから、消費や輸出は力強さに欠けているものの、景気の中長期的な傾向を表す基調は「緩やかな回復基調が続いている」との表現を維持しております。

半導体業界におきましては、中国におけるスマートフォン（スマホ）の需要が減速している反面、半導体業界では設備投資を増やす計画を発表する企業も増えてきております。

このような状況のもと、当第3四半期累計期間におきまして、顧客より高い評価をいただいております当社主力製品「Zシリーズ」のマスクCD-SEM機を1台出荷しており、受注・販売計画はおおむね計画通りに推移いたしました。またここ数年、小口径（200mm以下）市場でCD-SEMやレビューSEMの需要が高まっておりますウェハー用CD-SEMは開発生産が順調に進み、販売を再スタートいたしました。装置名称「ESPA（エスパ）」の名を継承した「ESPA-3000 シリーズ」は、第4四半期会計期間に初号機を出荷する予定となっております。

上記の結果、売上高は845百万円（前年同四半期比13.6%減）となりました。損益につきましては、営業利益72百万円（前年同四半期比23.8%減）、経常利益64百万円（前年同四半期比34.0%減）及び四半期純利益54百万円（前年同四半期比46.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて4.6%減少し、1,177百万円となりました。これは、現金及び預金が181百万円、仕掛品が95百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が344百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて9.8%増加し、553百万円となりました。これは、有形固定資産が28百万円、無形固定資産が22百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて0.4%減少し、1,731百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて12.6%減少し、525百万円となりました。これは1年内返済予定の長期借入金が26百万円増加した一方、短期借入金が160百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて5.0%増加し、294百万円となりました。これは、長期借入金が8百万円、退職給付引当金が8百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて7.0%減少し、820百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて6.4%増加し、910百万円となりました。これは、利益剰余金が54百万円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、年間目標をおおむね計画通りに推移しており、平成27年5月12日に発表いたしました業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法について、従来、定率法(ただし、平成10年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法)を採用していましたが、第1四半期会計期間より定額法に変更いたしました。

この変更は、近年、半導体市場が好況であり、当社製品の販売・受注も計画通りに推移し、収益構造が改善してきた環境のなか、2015年度からの中期経営計画の実行において、当社の事業課題である「複数製品の製造・販売による経営の安定化」を図るため、生産体制の見直しを行いました。

当該見直しの結果、今後の当社の生産は安定して推移し、固定資産の投資効果は耐用年数の期間にわたり平均的・安定的に発現することが見込まれます。

従って、使用可能期間にわたり均等に費用配分を行うことが、当社の有形固定資産の使用実態をより適切に反映できるとともに、収益と費用の対応関係が適正となり、当社の経営成績をより適切に反映できるものと判断し、第1四半期会計期間より有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法へ変更することにいたしました。

これにより、従来の方と比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益、税引前四半期純利益はそれぞれ2,539千円増加しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	254,013	435,038
受取手形及び売掛金	708,535	364,117
仕掛品	204,955	300,101
原材料	45,902	36,871
その他	20,633	41,627
流動資産合計	1,234,039	1,177,757
固定資産		
有形固定資産		
建設仮勘定	263,057	264,430
その他(純額)	106,134	133,544
有形固定資産合計	369,192	397,974
無形固定資産	83,087	105,477
投資その他の資産	51,862	50,139
固定資産合計	504,142	553,591
資産合計	1,738,181	1,731,348
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	149,419	107,319
電子記録債務	58,063	83,908
短期借入金	160,000	-
1年内返済予定の長期借入金	69,078	95,352
未払法人税等	19,710	-
賞与引当金	10,075	-
製品保証引当金	22,645	29,760
その他	112,443	209,478
流動負債合計	601,435	525,818
固定負債		
長期借入金	169,262	177,924
退職給付引当金	92,808	100,958
その他	18,559	15,748
固定負債合計	280,630	294,631
負債合計	882,065	820,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	692,361	692,361
資本剰余金	635,681	163,754
利益剰余金	△471,927	54,782
株主資本合計	856,116	910,898
純資産合計	856,116	910,898
負債純資産合計	1,738,181	1,731,348

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	978,546	845,325
売上原価	552,791	479,759
売上総利益	425,754	365,566
販売費及び一般管理費	331,167	293,534
営業利益	94,587	72,032
営業外収益		
受取利息	80	66
為替差益	7,860	-
その他	28	72
営業外収益合計	7,969	139
営業外費用		
支払利息	3,901	2,713
為替差損	-	5,152
手形売却損	1,131	-
その他	402	222
営業外費用合計	5,434	8,089
経常利益	97,122	64,082
特別利益		
保険金収入	7,523	-
特別利益合計	7,523	-
特別損失		
固定資産除却損	-	765
特別損失合計	-	765
税引前四半期純利益	104,646	63,317
法人税、住民税及び事業税	2,695	8,535
四半期純利益	101,950	54,782

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。